

WLB 推進を検討している皆様へ

WLB 推進前の課題、問題

当院では看護職ばかりではなくリハビリを担当する多くの若い人たちが職員として働いており、出産を契機にして退職していくことも少なくありませんでした。そういった人たちが、子育てをしながら安心して働けるようにするにはどうしたらよいかと考え、「保育室があれば子育てをしながら働めることができる」と考え、保育室を整備しました。

WLB 推進時の困難点、克服策

保育室の開設当初は利用者が少なく、周知を図り、利用者の増加に努めました。また、院内制度・法定制度の周知のために、妊娠から就学まで各ライフステージでの制度の内容を簡潔に A3 サイズ 1 枚にまとめたリーフレットを作成しました。このリーフレットは、産前・産後休業に入る 1 ヶ月前に行う本人面談の際、詳細を説明し、関連書類と共に手渡しています。育児休業期間満了 3 ヶ月前に、改めて復職時期の確認を行っています。

WLB 推進による効果

職員同士がお互いの状況を理解し合い、支え合っているため、仲間と働いているという一体感が高まりました。「子どもを安心して預けられるから、安心して働ける」という好循環が生まれました。そのような状況を作ることで、職員の職場への信頼感も高まりました。

WLB 推進を検討している皆様へメッセージ

職員のワークライフバランスについて考え、取組を実施していくにあたって、我々にできないこともあります。できることは必ずあります。できることを確実にやっていき、働く人たちの安心感を生み、それによって職場に活気が出てくるのが非常に良いことだと思います。職員にどんな支援が必要かいつも考えていることが重要だと思います。



※このリーフレットは東京ワークライフバランス認定企業の取組紹介のために東京都が発行したものです。

WORK LIFE BALANCE

認定部門 仕事と育児の両立推進部門

医療法人社団瑞心会 杉並リハビリテーション病院



認定部門 仕事と育児の両立推進部門

医療法人社団瑞心会杉並リハビリテーション病院



代表者名
中村 康彦

創立
2004年

所在地
東京都杉並区西荻北2-5-5

TEL/FAX
03-3396-3181 / 03-3396-3237

従業員数
216名(うち正職員200名)

URL
<http://www.suginami-reha-tokyo.jp>

事業内容

回復期リハビリテーション(内科、リハビリテーション科)

目的/理念

愛し愛される病院

職員が仕事と子育てを両立しながら安心して、働き続けることができる雇用環境の整備を行い、職員の能力を十分に発揮できる風土を構築する。

取組内容

・職員専用保育室の設置

365日開室している職員専用保育室を設置しています。職種に関わらず利用が可能となっており、様々な職種の職員が利用しています。利用者アンケートも実施し、より利用しやすい保育室になるよう努力しています。

・夜勤制限正職員制度

夜勤が難しい場合、日勤勤務のみでも働けるようにしています。

・出産・育児関連制度紹介のオリジナルリーフレットの配布

子育てを支援する各種公的支援制度や院内制度も整ってきましたので、妊娠、出産、育児、職場復帰、就学までのフローと支援制度をまとめたリーフレットにより、産前・産後休業に入る前の職員に丁寧に説明しています。職員に安心して休業に入ってもらっています。

従業員の声

- ・院内保育室ができたことで、離職するスタッフが少なくなりました。
- ・子どもを安心して預けられるようになったので、仕事に集中できるようになりました。
- ・小さな子どもがいることに対して、出勤時間や勤務時間なども配慮してくれるので、無理なく「お母さん」と「仕事」を両立できます。
- ・一緒に働く職員に子どものことを気にかけてもらえるので、子どもが急な病気で早退する時など理解してもらえ、助けてもらえるのがうれしいです。
- ・保育室を利用している他部署のスタッフとも話をする機会が増え、情報交換ができるようになりました。

